

現代建築 めぐり

ルート①

世界が認めた

金沢アーキテクチャー・ツーリズム

vol.3

金沢の様々な建築物を、それぞれの
趣きでテーマ別にコース設定した
「金沢アーキテクチャー・ツーリズム」
第三弾は、現代建築めぐり。
世界的に評価されている建物をめぐる旅へ。

金沢アーキテクチャー・ツーリズム

vol.3

金沢が育んだ世界的建築家

谷口 建築 めぐり

ルート②

金沢アーキテクチャー・ ツーリズムとは

街のそこかしこにある建築物を訪ねて
歩くツアー。金沢は江戸時代から現代ま
で多様な様式の建築物が見られ、そこ
から昔と今の感性や息吹が感じられる。

ルート①

（ルート順）

本多の森ホール

金沢21世紀美術館

金沢市文化ホール

金沢駅前・もてなしドーム

金沢市民芸術村

金沢海みらい図書館

石川県金沢港大野からくり記念館

ルート②

（ルート順）

西町教育研修館

金沢市立玉川図書館

石川県伝統産業工芸館

金沢歌劇座

鈴木大拙館

室生犀星文学碑

徳田秋声文学碑

ちよつと、
金沢まで。

ちよつと、
金沢まで。

北陸新幹線開業

北陸新幹線開業

金沢アーキテクチャー・ツーリズム

金沢が育んだ世界的建築家 谷口建築めぐり

父吉郎氏は金沢の九谷焼窯元の家に生まれ、建築家として秩父セメント・東京国立博物館・ホテルオークラなどの作品を残し文化勲章を受賞。その功績により金沢ふるさと偉人館に顕彰。息子吉生氏は同じく建築家で豊田市美術館・MoMA・京都国立博物館などを設計。世界的に高く評価を受けている。



施工年／1952年
設計者／谷口吉郎
金沢市西町3-16
☎076-220-2449
(金沢市教育委員会学校指導課)
営／9:00～19:00
休／火曜

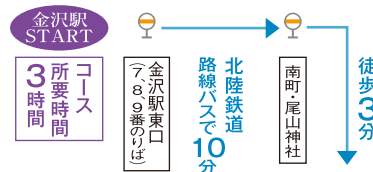


ナビゲーター

水野一郎 金沢工大教授

Profile

東大建築学科卒、東京芸大大学院卒。金沢工大で教鞭をとりながら、建築を通してまちづくりや地域環境で数々の業績を持つ。



1 西町教育研修館

吹抜けのある玄関ホール。空中に浮かぶ折鶴型の照明器具を中心にらせん階段を巡るドラマのある空間が楽しい。

戦後、元気だった繊維業の会館。全体は当時先端の近代建築であるが、瓦屋根を乗せたり、底をつけたり、1階の壁を下げるなど雪国の風土に合わせたデザインが加わっている。

徒歩10分

2 金沢市立玉川図書館

緑の公園の中で高さも色彩も抑えて静かに佇む吉生氏設計の玉川図書館。シンプルな形態だが高い品性を感じさせる。隣接のレンガ棟(再利用)は父吉郎氏の改修であり、唯一の親子共同作品。



施工年／1959年
設計者／谷口吉郎
金沢市兼六町1番1号
☎076-262-2020
営／9:00～17:00
休／第3木曜(4月～11月)
毎週木曜(12月～3月)

小さい建築だが、インテリアに大きな吹抜けがあり、昔は美術館、今は伝統産業工芸館の豊かな展示空間になっている。



3 石川県立伝統産業工芸館

兼六園の一角に建つ元県立美術館。近代建築でありながら、和風の壁割りや格子、あるいは降積雪に対処する庇や1階壁面セットバックなど金沢の風土に合わせたデザインが施されている。

北陸鉄道路線バスで10分

兼六園下

徒歩5分

南町・尾山神社
(金沢大学行)



左／天井の高い閲覧室と落ち着いた中庭とのつながりが快適な読書空間になっている。
中／四角の箱の中央部を切り取って生まれた中庭が、図書館の諸室を快適にしている。

施工年／1978年
設計者／谷口吉郎、谷口吉生
金沢市玉川町2-20
☎076-221-1960
休／月曜
★BCS賞(S55年・日本建設業連合会)

徒歩10分

4 金沢歌劇座

金沢歌劇座(旧金沢市観光会館)は監修・谷口吉郎、設計・日建設計。ファサードの深い庇と柱梁の空間、そこに用いられた白タイルや戸室石などに吉郎のデザインが見られる。壁型の照明器具をインテリア空間の重要な要素とするのも吉郎氏のデザイン。



施工年／1962年 設計者／日建設計 谷口吉郎監修
金沢市本多町6番丁27番地 ☎076-220-2501
休／第1、3水曜
★BCS賞(S38年・日本建設業連合会)



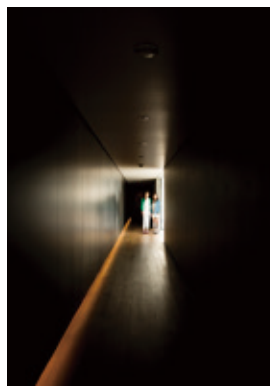
5 鈴木大拙館

徒歩10分

静かに閉じた内部空間と明るく開かれた外部空間が対になった回廊によって巧みに組み合わせた建築。訪れた人全てを心鎮めて、ゆっくりと歩かせてしまう。

吉生は水面を好んでデザインする。四周の壁、背面の緑、そして大空と水面が合わさって立体的な静謐(せいひつ)空間を生みだし、人に静かな思考を促す。

気ぜわしい街の雰囲気から静寂の館内に入るに当たって、少し暗い回廊を通ることで心を落ち着かせるという演出である。



無とは、欲とは、宇宙とは…。人は谷口空間に浸りながら想いをめぐらす。



足を伸ばせば

徳田秋声文学碑

吉郎最初の文学碑で卯辰山の中腹の林の中に佇む。日本の文学碑第1号である。碑は柱と丸盆のひっそりしたものだが背後の金沢的土塀と一体となって存在感を見せる。後背の壁面には秋声自筆の色紙1枚と犀星からの頌辞と秋声絶句の3枚がある。〈金沢駅から約3km〉



施工年／1947年 設計者／谷口吉郎
金沢市末広町(卯辰山公園内)



施工年／2011年
設計者／谷口吉生
金沢市本多町3-4-20
☎076-221-8011
休／月曜

★第35回金沢都市美文化賞(2012年)
★BCS賞(H27年・日本建設業連合会)



徒歩10分

6 室生犀星文学碑

犀星は犀川のほとりで育ち、「美しき川は流れたり」と詠んだ。碑は赤御影石の流し雛の形をしており、華やかな姿と熱い情を感じさせる。

施工年／1964年
設計者／谷口吉郎
金沢市中川除町



施工年／1982年 設計／芦原・谷口建築設計共同企業体
金沢市高岡町15-1 ☎076-223-1221
休／第2、第4水曜

中庭を持つ四角の建物を対角線で切断して、その中庭が玄関ホールとして人々を迎え入れるユニークなプラン。その中央に雪吊りを模した屋根がある。

3 金沢市文化ホール

徒歩10分



建物の中には高さや大きさの異なる展示室や中庭があり、美術館外周のガラス壁面と合わせて、明るく開放的な雰囲気を出している。中庭が展示空間になることもあるが、なんといっても、常設の「スミリング・プール」や「緑の橋」などの作品が評判を呼んでいる。



施工年／2004年
設計者／妹島和世+西沢立衛/SANNA
金沢市広坂1-2-1 ☎076-220-2800
営／展覧会ゾーン：10:00～18:00
(金・土曜は20:00まで)
交流ゾーン：9:00～22:00
休／月曜・年末年始

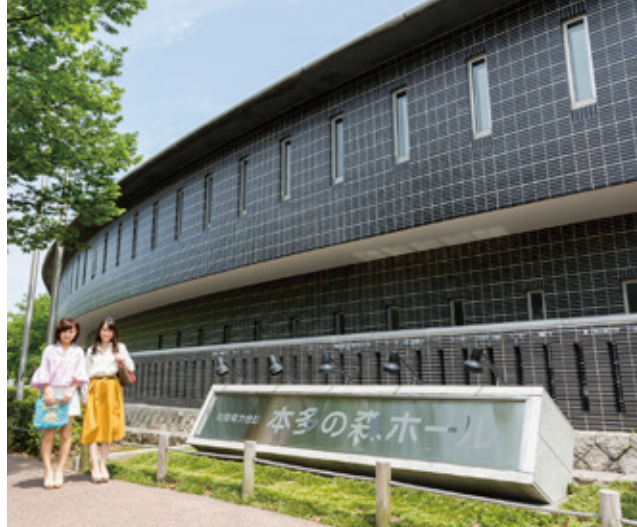


- ★ブリツカー賞/SANNA (H22)
- ★訪れたい国内・海外の美術館・博物館ベスト10 (H24・JTB調査)
- ★BCS賞(H18年・日本建設業連合会)

立方体や円柱を組み合わせた建物があることがよくわかる一角。

2 金沢21世紀美術館

「まるびい」と呼ばれている金沢21世紀美術館は円形のガラス箱の中に、四角や丸の展示室の箱があり散りばめられている。



外観もインテリアもグレー一色だった。黒川さんは金沢の友禅や丸谷などの五彩が映えるように「利休ねずみ」の色にしたと語っていた。

施工年／1977年 設計者／黒川紀章
金沢市石引4-17-1 ☎076-222-0011
営／9:00～17:00
休／不定休

徒歩10分

会館の後ろまで回り込む機会は少ないが、以前野球場であった頃のホームベースの位置が建物の角のくぼみに表現されているという。



金沢アーキテクチャー・ツーリズム
世界が認めた
現代建築めぐり
金沢には、日本を代表する建築家の作品が数多くあり、世界的に認められた価値を持つ。それらを訪ねる小旅行だ。



ナビゲーター

水野一郎 金沢工大教授

Profile

東大建築学科卒、東京芸大大学院卒。
金沢工大で教鞭をとりながら、建築を通してまちづくりや地域環境で数々の業績を持つ。

※所要時間は、およその時間です。

金沢駅
STARTコース所要時間
3時間金沢駅東口
(7番のりば)

北陸鉄道路線バスで25分

出羽町

徒歩3分

1 本多の森ホール

元兼六園野球場の外野席スタンドのラインを取り込み、金沢の町家と用水とを組み合わせた断面をもったデザイン。あの目立ちがりの黒川さんが、金沢らしさを重視したこと注目したい。

金沢駅東口

4 金沢駅鼓門 もてなしドーム

アルミによる最先端技術のドームと能登ビバの集成材による回転、双曲面デザインの鼓門。革新と伝統の金沢が表現されている。

施工年／2005年
金沢市木ノ新保町1-1



★世界で最も美しい駅14駅
(H23 米国旅行雑誌「トラベル・レジャー」ウェブ版)
★世界で最も素晴らしい駅ベスト10
(H25 米国天気予報チャンネル「ウエザーチャンネル」)



上／金沢は県庁所在地で最も年間降雨量の多い都市。そこで駅を降りたら傘をさしかけるようなもてなしドームでお出迎え。
下／駅はまちへの玄関口。殊に新幹線開通で金沢駅の兼六園口(東口)は大玄関です。そのために張り切って鼓門というシティーゲートを用意。

金沢駅東口
(11番のりば)

北陸鉄道路線バスで10分

富本町

徒歩7～8分

5 金沢市民芸術村

解体寸前だった紡績工場の倉庫群を視察した当時の金沢市長が方針転換し、市民芸術活動を支援する施設として再利用することになった。

木造の軸組が美しいアイロ工房。白い箱状の一般的な展示空間とは異なる立体的空間となっているので、利用者それぞれの展示の工夫が見れて毎回楽しい。



施工年／1996年
設計者／水野一郎
金沢市大和町1-1
☎076-265-8300
営／9:00～21:00
★1997(H9)年
グッドデザイン大賞受賞

オープンスペースは365日、24時間誰でも利用できる。いつも人が絶えることはない。特に夏休みには、前の池で多くの子供連れ家族が憩いの時をすごしている。

足を伸ばせば

石川県金沢港大野 からくり記念館

木造集成材による不思議な傾きと広がりを持つインテリア空間であり、「からくりからくり」と口ずさみながら、展示品を楽しむことになる。
(金沢駅から約7km)



金沢駅東の鼓門と同じく構造体は「回転双曲面」であり、建築自体がからくり的と言えよう。

足を伸ばせば

金沢海みらい図書館

白い箱の中は、まちがいなく図書館。整然と並んだ本棚や、あちこちに用意された図書机が見渡せて、さあ、これからどこを攻めようかと考える。(金沢駅から約5km)



水玉模様の白いケーキ箱のような図書館。何が入っているのか覗きたくなる不思議な箱。それにしても水玉に見える円窓はいくつあるのだろうか。



窓際の席?壁際の席?
どっちでも良いけど人気の席。

施工年／2011年
設計者／シーラカンスK&H
(工藤和美、堀場弘)
金沢市寺中町1-1
☎076-266-2011
営／平 日10:00～19:00
土日祝10:00～17:00
休／水曜

★世界で最も美しい公共図書館ベスト25
(H24.5.4付記事 米国ネットサービスサイト「Flavorpill」)
★世界の素晴らしい公立図書館ベスト4
(H25 英国BBC放送)
★アジア太平洋デザイン建築賞最優秀賞(H25)
★世界の魅力的な図書館ベスト20
(H26 米国大手旅行ガイド「フォードズ」)
★BCS賞(H25年・日本建設業連合会)